

[プレスリリース]

公益財団法人 日本セーリング連盟

男子ウインドサーフィン種目 iQF0iL 級  
富澤慎選手、5 度目のオリンピックは総合 18 位で終了



得意のコースレースで健闘する富澤選手 ©JSAF/JUNICHI HIRAI（写真転用禁止）

レース 5 日目。男女のウインドサーフィン種目は今日が予選の最終日でした。男子 iQF0iL 級に出場した富澤慎選手は、今日の 1 レース目、得意のコースレースで戦略的なスタートを切ると、先頭集団でレースを引っ張り 9 位でフィニッシュ。続くレースは 17 位、風が落ちたためレース海面を変更して行われた最終レースは 13 位でした。

富澤選手は全 13 レースを行い、総合 18 位。残念ながら一発逆転をかけたメダルシリーズ進出はなりませんでした。セーリング競技では日本最多となる 5 回目のオリンピック出場を果たした 40 歳のベテランは、次世代へと夢を託しマルセイユを後にします。

今日予定されていた男女スキフ種目のメダルレースは、風が安定せず、何度もレースをやり直した後に中止となりました。メダルレースは明日へと持ち越しです。

明日は男女スキフ種目のメダルレースと、今日予選が終わった男女ウインドサーフィン種目のメダルシリーズが行われる予定です。明日こそは、パリ大会セーリング競技最初のメダリストが誕生しますように。

また明日からは、日本期待のエース岡田奎樹／吉岡美帆組が出場する男女混合ディンギー種目 470 級の予選が始まります。明日は今日より風が上がる予報です。

## 選手コメント

### iQF0iL 級・富澤慎選手

「今大会は実力不足のまま挑むというのは最初から分かっていたことなので、いかに攻めたレースをして可能性を掴んでいくかというチャレンジをしました。その目標に対してはすごく満足してオリンピックを終えることができました。

レースは本当にハイレベルで、攻め続けるという気持ちでずっとやっていました。毎回、白熱した楽しいレースができました。結果は 18 位で振るわなかったですけど、新種目にチャレンジして、僕もいろいろな意味でチャレンジしてきましたし、一緒にトレーニングをやってきたメンバーたちもそれぞれにチャレンジしているので、この大会がスタートになってこの新種目で世界と対等に戦える人たちが出てきてくれることを祈っています。

この先についてはうっすら考えてはいますが、まだ具体的なことは決めていません。ただ、自分自身が挑戦するということは……ないですね。この世界ではたぶんもう、僕が今からエンジンをかけても追いつくことはないと感じていますから、新しい人が出てくるのがいいと思っています」

本件に関するお問い合わせ先

日本セーリング連盟 広報委員会 [kohou@jsaf.or.jp](mailto:kohou@jsaf.or.jp)

現地（西朝子）[sailingnishi@gmail.com](mailto:sailingnishi@gmail.com)

+81-90-1042-9262（なるべく WhatsApp 等のアプリからおかけください）

写真に関するお問い合わせは上記までご連絡ください

JSAF 公式 [ウェブサイト](#) [Facebook](#) [X\(旧 Twitter\)](#) [Instagram](#)

[特設サイト](#) [代表 Instagram](#)